

2025年度 第1回豊岡市教育委員会の会議（定例会）会議録

○ 開会及び閉会の日時及び場所

2025年4月21日（月）

場 所 豊岡市役所本庁舎3階 庁議室

所 在 地 豊岡市中央町2番4号

開会時間 午前9時00分

閉会時間 午前10時20分

○ 出席委員の氏名

教育長	嶋 公治
委員（教育長職務代理者）	飯田 正巳
委員	向井 美紀
委員	升田 敏行
委員	鈴木 千佳

欠席委員 なし

○ 教育長、委員及び傍聴人を除くほか議場に出席した者の氏名

事務局	教育次長	永井 義久
	教育総務課長	川崎 智朗
	教育総務課参事兼学校給食センター所長	本庄 昇
	教育施設課長	谷口 祥規
	学校教育課長	寺坂 浩司
	幼児育成課長	向原 芳江
	教育総務課参事兼課長補佐	旭 和則
	教育総務課主幹兼教育総務係長	足立 美由紀

事務局以外	こども支援課こども支援センター所長	鳥居 保
	文化・スポーツ振興課参事	福井 孝道

○ 日程

第1 会議録署名委員の指名

鈴木 千佳 委員

第2 前回の会議録の承認

2025年3月27日（木）開催 2024年度 第12回定例会

第3 教育長の報告

第4 観光文化部の報告

1 文化・スポーツ振興課

- (1) 子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭「第11回おんぶの祭典」について

第5 議事

- 議案第1号 豊岡市奨学生選考委員会委員の委嘱について
- 議案第2号 豊岡市学校給食センター運営委員会委員の任命について
- 議案第3号 豊岡市学校運営協議会委員の任命について
- 報告第1号 寄附物件の受納について

第6 教育委員会事務局の報告

1 教育総務課

- (1) 2025年度事務概要等について

2 学校教育課

- (1) 生徒指導の状況について
- (2) 令和7年度自然学校の実施について
- (3) 令和7年度地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」の実施について
- (4) 令和7年度修学旅行の実施について

3 幼児育成課

- (1) 校区別乳幼児・児童生徒数について
- (2) 2025年度幼稚園・保育所・認定こども園の入所状況について
- (3) 2025年度放課後児童クラブの入所状況について

第7 こども未来部の報告

1 こども支援課

- (1) 豊岡市こども支援センター活動状況報告について

第8 委員活動報告

第9 教育委員会活動予定

- 1 次回教育委員会会議の日程について
- 2 今後の活動・行事予定

開会 午前9時00分

(教育長)

ただ今から、2025年度第1回教育委員会会議を開会いたします。本日は、在任の教育委員がすべて出席していますので、会議が成立していることを報告いたします。

【日程 第1 会議録署名委員の指名】

(教育長)

日程第1 会議録署名委員の指名です。本日は鈴木委員にお願いしたいと思いますのでよろしくお願いします。

【日程 第2 前回の会議録の承認】

(教育長)

続きまして、日程第2 前回の会議録の承認についてです。3月27日に開催しました第12回教育委員会会議の会議録について、委員の皆さんの承認を求めるものです。誤った点・修正などございませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

「なし」という声がありますので、会議録については承認することに決定いたします。

【日程 第3 教育長の報告】

(教育長)

日程第3 教育長の報告です。前回3月27日の教育委員会会議から、本日の会議までの私の主な教育活動の概要について報告いたします。本日配付した資料をご覧ください。

《教育長の報告概要》

4月16日に消防長から報告がありました。日高町で近所の方があぜ焼きをしており、火が大きくなったのを近くで遊んでいた日高小学校5年生の児童7人が発見しました。キッズ携帯を所持していた1人がすぐに119番通報をしました。結果として火事はありませんでしたが、火災だと察知し消防に119番通報する行動が素晴らしいとして、消防長からお礼の連絡をいただきました。

4月1回目の校園長会でも話しましたが、田鶴野地区の中学生が部活動の下校途中で気分が悪くなり豊岡大橋のそばに座り込んでいました。通りかかった中学生が異常を察し、田鶴野小学校に飛び込み、それを聞いた田鶴野小学校の職員が駆けつけ救急処置をしたこともありました。

「知っていること」と「できること」には大きな差はあります。この二つの事例のように子どもたちに実践できる力が育っていることをうれしく思いました。

第1回目の校園長会で、第5次教育プランの基本理念について話をしました。豊岡で育む「在りたい自分」と「在りたい未来」についてです。その数日後に入学式があり、皆さんにも出席していただきましたが、私が参加した小学校の校長が、早速に学校教育目標にその意図を取り入れていました。午後から参加した中学校では校長が、ウェルビーイングの目指す姿を式辞の中で保護者に伝えていました。その他にも様々な学校で子どもたちのウェルビーイングや、在りたい自分や未来について語った校長先生がたくさんいたと、式に参加した指導主事や事務局の職員から報告を受けています。

非認知能力を初めて提起した際、誰もその正体がわからなく、3年経過してやっとなどの職員も非認知能力のイメージを共有化できるようになりました。初任者の面接や、あるいは管外から来

た先生たちの面接で、非認知能力についてその意義や具体的な内容について必ず質問をしますが、ほとんど答えられません。しかし、豊岡で臨時の経験をしている人や、過去に経験がある人はしっかり答えてもらえます。教育プランは5年の期間がありますが、初年度はウェルビーイングの正体、在りたい自分や在りたい未来について、いろいろなところで校園長をはじめとする教職員、事務局職員、そして教育委員の皆様がそれぞれの言葉で伝えていってほしいと思います。

【日程 第4 観光文化部の報告】

(教育長)

日程第4 観光文化部からの報告に移ります。文化・スポーツ振興課 (1) 子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭「第11回おんぷの祭典」について、文化・スポーツ振興課参事の説明をお願いします。

1 文化・スポーツ振興課

(1) 子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭「第11回おんぷの祭典」について

《文化・スポーツ振興課参事の説明概要》

子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭「第11回おんぷの祭典」について、資料に基づき説明する。

「～世界から豊岡に 本物の響きと感動を子どもたちへ～」をスローガンに始めたおんぷの祭典は、本年度で11回目を迎える。会期は5月25日から6月1日までの8日間である。学校訪問コンサートは、小学校4校、田鶴野小、八代小、三江小、小坂小で行う。園訪問コンサートは3園、竹野認定こども園、出石幼稚園、チャイルドハウスこども園で行う。5月28日に市民プラザで行う子どもたちのためのコンサートは、子どもが泣いても騒いでも会場から出ることなく親子で安心して参加できるコンサートである。5月27日から29日は稽古堂キッズコンサートを開催する。6月1日に市民会館で行うキッズコンサートは、見て聴いて面白い楽曲を演奏し、子どもたちと一緒に楽しい時間を作り出す。稽古堂イブニングコンサートは、5月26日から31日まで開催し、有料である。コンサートのチケットは、4月25日から販売する。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(鈴木委員)

昨年度と違うところや、今年特に力を入れている部分はありますか。

(文化・スポーツ振興課参事)

会期が少し伸びています。これまでは6日間実施し、火曜日にスタートし、日曜日まででしたが、今回は日曜日から始まります。今回5月25日にオープニングコンサートがありますが、初めての企画で丹後鉄道様にご協力いただき列車の中で聴いていただきます。

(鈴木委員)

キッズおんぷ鉄道がとても魅力的ですが、親子が対象でしょうか。

(文化・スポーツ振興課参事)

親子が対象です。

(教育長)

その他、ご質問はありませんでしょうか。

(委員)

なし

【日程 第5 議事】

(教育長)

日程第5 議事に移ります。議案第1号から議案第3号までは、人事に関する議案となりますので、豊岡市教育委員会会議規則第17条により、非公開としたいと考えますが、いかがでしょうか。

(委員)

異議なし

(教育長)

委員の承認を得ましたので、非公開といたします。傍聴いただいている方には、申し訳ありませんが、非公開議案となりましたので、審議が終了するまで、ご退席をお願いします。

○ 議案第1号 豊岡市奨学生選考委員会委員の委嘱について

《 豊岡市奨学生選考委員会規程第3条及び第5条の規定に基づき、豊岡市奨学生選考委員会委員を委嘱することについて、教育総務課長が説明し、審議の結果、原案のとおり可決された
》

○ 議案第2号 豊岡市学校給食センター運営委員会委員の任命について

《 豊岡市立学校給食センターの設置及び管理に関する条例第5条の規定に基づき、豊岡市学校給食センター運営委員会委員を任命することについて、教育総務課参事兼学校給食センター所長が説明し、審議の結果、原案のとおり可決された
》

○ 議案第3号 豊岡市学校運営協議会委員の任命について

《 豊岡市立小中学校における豊岡市学校運営協議会の設置に関する規則第5条の規定に基づき、豊岡市学校運営協議会委員の任命について、学校教育課長が説明し、審議の結果、原案のとおり可決された
》

(教育長)

以上で非公開議案は終了しました。非公開議案は終了しましたので、退席いただいていた傍聴

の方は入室ください。

(教育長)

続きまして、議事（報告）に移ります。報告第1号 寄附物件の受納について、教育総務課長の説明をお願いします。

○ 報告第1号 寄附物件の受納について

《教育総務課長の説明概要》

寄附物件の受納について、資料に基づき説明する。

団体18件、個人3件、合計21件の寄附申し出があり、これを受納したため報告する。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

それでは、寄附物件の受納を行ったことをご承知おきください。

【日程 第6 教育委員会事務局の報告】

(教育長)

日程第6 教育委員会事務局の報告に移ります。まず、教育総務課(1) 2025年度事務概要等について、教育総務課長から順に説明をお願いします。

1 教育総務課

(1) 2025年度事務概要等について

《教育総務課長の説明概要》

2025年度事務概要について、資料に基づき説明する。

第5次とよおか教育プラン豊岡市教育振興基本計画の推進について報告する。2025年度が計画初年度である。学校と地域の連携を色濃くしたプランであり、プランの概要版、解説動画を活用し、保護者や地域の方へ周知を行う。実践計画として72の施策を展開する。そのうち、18の施策を特に力を入れていきたい重点施策と位置付け、取り組み、検証を行う。

《教育総務課参事の説明概要》

社会教育・生涯学習の充実と推進については、基本方針は大きく3つの柱として進める。

1つ目は、社会教育基本計画の理念の庁内共有と事業推進である。昨年6月に社会教育基本計画を策定した。今年からその計画を推進するために、豊岡市社会教育推進委員会を設置する。現在委員の選定を進めており、5月下旬に第1回目の会議を予定している。

2つ目は、多様な学習機会の充実と読書活動の推進である。生涯学習サロンでの講座等を中心に進める。また、くすの木学校、青い鳥学級など、障害者の社会自立を目指した学習機会を提供

する。図書館では子どもの読書支援を推進するため、本の団体貸し出しや出張お話し会、学校図書室の管理のアドバイス等を学校園と連携して行う。今年度は、図書館本館棟での長寿命化工事を予定している。来年の2月か3月頃に一時休館を予定している。

3つ目は、家庭・地域の教育力の向上と青少年健全育成の推進である。子どもと心でつながる市民運動推進協議会を2024年度で解散し、組織の構成をスリム化する。22地区は豊岡市青少年健全育成地区会議で構成する青少年健全育成地区会議連絡会を新たに組織し進める。

《教育総務課参事兼学校給食センター所長の説明概要》

安全安心な学校給食の提供について説明する。学校給食センターでは安全安心な学校給食の提供を目指し、市内産野菜の積極的な使用やオーガニックビレッジの取組と連携した有機農産物の利用を推進している。しかし、量の確保が課題である。

給食費について、2025年から物価動向に連動した食材料費の設定を行っており、保護者負担額は2024年度から4年間で段階的に増額する。一方、給食費を無償化する国の取組もある。また、急激な少子化と施設・設備の老朽化に対応するため、現在は3つの給食センターの体制を再編し、2026年度末で日高学校給食センターを廃止し、豊岡及び出石の給食センターに再編する計画としている。

基本方針は、市内産野菜の使用目標を重量ベースで30%以上とし、市内産の野菜や有機農産物の利用を推進するため、JAや生産者との連携を進める。給食無償化の動きについて国の情報を収集し、物価動向に連動した食材料費の設定と保護者負担額の段階的な増額を行う。学校給食センターの再編は、調理業務委託事業者及び配送業務委託事業者との調整を進める。

《教育施設課長の説明概要》

2025年度事務概要について、資料に基づき説明する。

学校園の再編推進については、「豊岡市における幼児教育・保育及び放課後児童のあり方計画」を2021年2月に策定し、「豊岡市立小中学校適正規模・適正配置計画」を2021年12月に策定した。

「豊岡市における幼児教育・保育及び放課後児童のあり方計画」の推進にあたり、2025年3月にこども未来部で策定した「豊岡市こども計画」を踏まえ、持続可能な幼児教育・保育提供体制の整備を進めることとする。

「豊岡市立小中学校適正規模・適正配置計画」の推進にあたり、学校施設は地域の交流拠点や災害時の避難所機能等、教育施設以外の機能も兼ね備えることから、保護者や地域住民と対話を重ね、合意形成を図り丁寧に進めるものとする。

概要について、1点目は豊岡市における幼児教育・保育及び放課後児童のあり方計画の推進である。持続可能な幼児教育・保育提供体制の整備を推進するため、後期事業における計画内容の検討を行いたいと考えている。

2点目は、豊岡市立小中学校適正規模・適正配置計画の推進である。現在事業中である竹野地域小中一貫校の整備を進めていく。また、小坂小学校と小野小学校の統合が2026年4月となり、それに向けた調整を進める。最後に、但東地域小中一貫校の整備について、現在保護者や地域住民との協議を重ね進めていきたいと考えている。

次に、教育・保育施設等の整備の推進である。教育・保育施設について、児童・生徒や園児が安全で安心な環境を整備する必要がある。しかし、小中学校の施設では約8割が建築後20年以上経過しており、施設の維持が課題である。また、急速なICT技術の進展により、児童・生徒に

1人1台の端末機を整備したが、維持・更新が課題である。

基本方針は、引き続き、子どもたちの安全安心を第一に、効率的な維持管理、環境対策やICT等新たな課題にも対応した教育環境の整備・充実を図るとする。

概要について、1点目は、豊岡市学校施設個別施設計画における実施計画の見直しである。2020年1月に策定した豊岡市学校施設個別施設計画の長寿命化計画だが、5年経過している。具体的な事業スケジュールの実施計画について、豊岡市小中学校適正規模・適正配置計画の時点修正や長期財政計画を踏まえた見直しが必要である。子どもたちの安全を確保し、学習環境の向上を図るために、今後10年間の具体的な事業スケジュールを計画するよう検討している。

2点目は、豊岡市学校施設個別施設計画に基づく計画的な改修の実施である。三江小学校の長寿命化改良工事について2025年度は、昨年度に引き続き特別教室棟の大規模改修工事、また老朽化が著しい普通教室棟において長寿命化改修を行う。竹野学園は、昨年 to 引き続き低学年棟の増築、既存校舎の改修、空調設備整備等を行う。低学年棟の完成について、1～6年生の移転スケジュールを変更する。

3点目は、小学校の空調設備整備である。指定避難所の小学校のうち、19校の体育館において、災害時の良好な生活環境の確保、合わせて熱中症リスクの低減を図り、快適な活動環境を整えるため、空調設備を整備するものである。2024年度から2027年度の3か年で整備する計画である。2025年度は、豊岡小学校等5校を整備する予定である。

4点目は、児童生徒1人1台端末を活用する推進である。引き続き、教員向けのサポートや研修を行うGIGAスクール運営支援センター業務の委託事業や、校内の無線LAN環境の改善を行う。2025年度は、2020年度に購入した学習用端末のうち、中学校生徒にタブレット端末を2,179台の更新を行う予定としている。

《学校教育課長の説明概要》

2025年度事務概要について、資料に基づき説明する。

概要の中で、主なものを3点説明する。

1つ目は、不登校対策の充実である。昨年度3月末時点で一昨年度の同時期と比べ、本市の中で23人、約13%の増加となった。不登校対策アクションプランを昨年度改定しており、それに基づき内容を充実させていきたい。具体的には、日頃行うアンケートや教育相談等、児童生徒の心身状況把握や心身の早期ケア。すべての小中義務教育学校内で、子どもたちが安心できる居場所として設置している校内サポートルーム。こちらについては全中学校と義務教育学校後期、小学校6校にサポートルーム支援員を配置していきたい。

続いて、学校における働き方改革について、推進方針に基づき取組を進めるが、今年度新たに自動採点システムを導入する。教員のテスト採点、集計、成績処理に係る業務を軽減できるものと期待している。今年度はチーム学校として、外部の方を含めた業務改善等、教職員の健康管理を重点とし取組を進める。

最後に「コミュニティ・スクール」と「地域学校協働活動」の一体的な実施である。昨年度から全ての市立小中学校で導入しているところである。いろいろな報告を受ける中で、各学校、地域における課題が様々であることがわかる。今年度はとりわけ、不登校を議題にあげながら、様々な視点から地域の方を含めアイデアを出し合い、取組をさらに進化させていきたいと考えている。それ以外については継続の事業である。

《幼児育成課長の説明概要》

2025年度事務概要について、資料に基づき説明する。

就学前の教育・保育の充実及び放課後児童クラブにおける育成支援の質の向上について説明する。基本方針は、2025 年 3 月に策定した「豊岡市こども計画」に基づき、就学前の教育・保育の充実及び放課後児童クラブにおける育成支援の質の向上を図る。就学前からの育ちの連続性を確保し、小学校への円滑な接続を図るため、学校教育課と連携し、豊岡市架け橋プログラムの基盤を構築する。

概要について、本年度の主要なもの 2 つあげている。

1 つ目は、就学前の教育・保育の充実である。(1) 子ども理解の推進と保育実践力の向上は、第 2 次豊岡市就学前の教育・保育計画「スタンダードカリキュラム」とその「活用の手引き」をもとに保育を実践し、学びの公開保育や経験年数、担任年齢別研修を重ねながら、目の前の子ども 1 人 1 人に寄り添い、子どもの理解をさらに深めることにより保育実践力を高め、教育・保育の質の向上を図る。(2) 各学校区における接続カリキュラムの作成と (3) 園と小学校の教育・保育の相互理解の推進と研修等の実施については、架け橋期と言われる義務教育開始前後の 5 歳児から小学校 1 年生の 2 年間の教育の充実を図るため、子どもに関わる大人が立場を越えて連携し、1 人 1 人の多様性に配慮したうえで、全ての子どもに学びや生活の基盤を育むことを目指す取組を、国が幼保小の架け橋プログラムとして示している。就学前からの育ちの連続性を確保し、小学校への円滑な接続を図るため、各学校区の園と小学校が連携し、接続期のカリキュラムを作成し、活用しながら学びや生活基盤の育成を目指す。また、従来から行われている交流活動等の機会を活用し、活動のねらい、配慮等を明確にすること、連携会議、相互参観を行い、子ども理解を深め、教育・保育の工夫や相互理解を図る。そして、有識者を招聘した園小合同の研修会を開催し、担任に限らず学校園全体の意識向上を目指す。

2 つ目は、放課後児童クラブにおける育成支援の質の向上である。(1) 子ども理解等の職員研修の推進 (2) 放課後児童クラブと学校園との連携の強化は、児童が放課後児童クラブで安心して過ごせるよう、また保護者が放課後児童クラブに安心して預けることができるよう、クラブの職員に対する有識者や心理士などを講師とした、子ども理解・対応についての研修等を充実させるとともに、放課後児童クラブと学校園との連携を強化し、育成支援の質の向上を図る。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(飯田委員)

給食センターの件について、日高の給食センターが来年度末で無くなり豊岡・出石に再編される中で、農家は高齢者の方が多く、近場なので野菜を搬入できましたが、出石になると運搬が大変だと聞きました。出石でも同じ量の食材を確保できるか考えると、出石も高齢者が多く、今までと同じ種類や量を確保できるかという心配があるのです。間に入る農協など、どこからでも地域で採れた安心安全な野菜を提供できるシステムをご検討いただきたいです。再編はよいと思いますが、農家の野菜の確保のあり方を議論してほしい。

(教育総務課参事兼学校給食センター所長)

先日有機野菜を作っている方々と会議を開き、学校給食センターでもっと有機野菜を使うのどうすればよいかと話を始めています。野菜の生産者が高齢化するの仕方のないことであり、若い方でも野菜を作っている方もいるため、その方はもちろん、農協にも協力を求めたいと思います。

(飯田委員)

朝7時半から受け付ける形で野菜の集荷が始まりますが、高齢者の方に早朝や前日の夕方に各JAで集約し、それをJAが持っていく。あるいは農家の方で夕方なら持っていけばいいやという方は夕方に持っていくなど、柔軟な搬入のしやすい方法を会議で話してもらい、農家の方もみんな協力し合い食材を確保する方向で議論を進めてほしいです。

(教育総務課参事兼学校給食センター所長)

基本的に朝7時半に野菜を搬入していますが、午後に来ることもあります。その点是对応できる範囲で柔軟にできないかと考えています。

(向井委員)

給食センターの再編について、日高地区の学校の分は、いくらか出石で作る場合がありますか。全て豊岡で作るということでしょうか。

(教育総務課参事兼学校給食センター所長)

旧日高町の部分は出石センターから配食されます。

(向井委員)

施設の規模があるということですか。

(教育総務課参事兼学校給食センター所長)

はい。

(向井委員)

空調の件について、2025年度に完成予定の5校の小学校の空調は、今年の夏に間に合うように進めていますか。もしくは年度中に完成ですか。

(教育施設課長)

夏に間に合わせる予定でしたが、設計がまだできていないため、年度内の完成です。

(升田委員)

先日読ませていただいた実践の総括があり、現状を引き継いで今年度特によくあげられていると思い、引き続き課題が捉えられ動いていただいていることがわかりました。その中で1つ、私はよく放課後児童クラブへ迎えに行きますが、幼稚園や小学校で何か不満がある児童で、放課後

児童クラブに助けられている児童が多くいます。しっかり見ていただいていると思います。小学校・幼稚園と放課後児童クラブとの連携が上手く進んでおり、子どもたちの1日のいろいろなことがきちんと伝わっており、もしくはその子の持つ特性を放課後児童クラブの方もよく知られており、良く過ごすことができていると、他のお子さまを見て感じます。そこをもう一度確認していただき、今後も続けていただきたいと思います。

幼稚園の入園式に行かせていただいたが、幼稚園の入園者数は少ないです。今後、幼稚園のあり方を考えなければならないと思いました。豊岡市の幼児教育は必要か、ニーズがあり、幼稚園へ通わせる親御さんに対しても良い意味がたくさんあると思います。そこら辺をしっかりとつかんでみてもいいのかなと感じました。

最後に、コミュニティ・スクールで不登校を扱うのはとてもよいことだと思います。様々な人に知っていただき、見ていただきたいと思います。一般的な数字で不登校の数が多いことだけを知らせるのではなく、内情や子どもひとりひとりのあり方を知っていただくことは、とても重要なことだと私は思います。今年、重要課題の1つとしてコミュニティ・スクールで話していただける機会はとてもよいことだと思います。ぜひ進めていただきたいと思います。

(幼児育成課長)

小学校での出来事を引きずり、放課後児童クラブに来る子どももいます。その都度、園や小学校と連携を取り対応しています。幼稚園については、今後検討しなければならないと思います。

(飯田委員)

今年から日高の放課後児童クラブで増員することを喜んでいます。人気があり、「よくなった」と声を聞きました。

入学式や卒園式等を見て、幼稚園から就学前教育で教育とあるのでそのニュアンスが高いと思いますが、保育園からであれば就学前教育はニュアンスが違うのではないかと感じます。幼稚園であれば「小学校に行くのだ」という子どもたちの覇気を感じますが、保育園や認定こども園であれば幼稚園とは少し違うのではと思います。同じ教育環境を整えてもらえたらと思いました。徐々に民間の保育園や認定こども園が増えるため、教育委員も顔を出さないため、どのように保育をされているか心配があります。差し支えなければ、少し訪問させていただく機会ができればと思いました。

(教育長)

「幼稚園は就学前の教育をしっかり行っている。しかし保育園は」とかつては発言がありました。今は保育指針も幼稚園の教育要領も認定こども園の教育要領も変わり、どこにいても就学前教育をすることになりました。そのような声があれば、具体的にどこを切り取るとそのように思われるのかを聞き、私たちの問題にしたいと思います。私は訪問してそうは感じません。具体的にどの部分かを幼児育成課に教えてください。

放課後児童クラブは毎年とてもトラブルが多いです。もともと保育にかける子どもたちが家に帰宅してからの居場所を作るためであり、福祉の意味がありますけれども、幸せに放課後を過ごしたいということで、幼児育成課の放課後児童クラブの担当は大変だと思いますが、頑張っています。

連携について、やはり放課後児童クラブから小学校は、敷居が高く言いにくいです。小学校からも声をかけていただきたいと思います。小学校の1年生、2年生が中心になりますが、「あの子が気になりますか、どうでしょうか」などお互いに声を掛け合い、たくさん情報を集めて指導に活かしていきたいです。

(飯田委員)

同じ認定こども園でも、以前八条認定こども園に行きましたが、就学前のことをきちっと行っていると感じました。民間こども園でもされているか心配や懸念があります。私が行かせていただいたこども園は特にできておりすごいなと思いました。

(幼児育成課長)

豊岡市全体でスタンダードカリキュラムに則り、保育教育を進めています。民間こども園も共に研修を受けており、同じ教育・保育を実施していると思います。民間こども園の方針もあるため、多少異なる部分もあると思いますが。

(教育長)

事実、教育委員会と方針が違うこともあります。しかし、その子どもが小学校に行くと大変だと思います。

(飯田委員)

であれば、保育園と小学校の接続関係が大切になります。

(升田委員)

可能であれば、どこかの園を見学に行かせていただけるとありがたいです。

(幼児育成課長)

検討します。接続に関して、今年度から学校教育課と連携することも基本方針内で報告しましたが、進めていきます。公立園も私立園も合わせて行います。

(教育長)

その他、ご質問はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

続きまして、学校教育課からの報告に移ります。(1) 生徒指導の状況について、学校教育課長の説明をお願いします。

(1) 生徒指導の状況について

《学校教育課長の説明概要》

生徒指導の状況について、資料に基づき説明する。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(向井委員)

小学生の問題行動等がとて多くなつたと感じています。少し前は高校生になれば携帯電話を持つ子が多かったですが、現在は中学生もしくは小学生でもスマートフォンを持つ子がいます。連絡用にとは言いますが、ゲームができることで他の人と通信手段となり、悪いものではないですが、時間をとられることもあり、中学生になると所持する人も割と多くなるため、指導してもらうことはできますか。稽古に来る中学生の子どもから「先生、ラインのグループに入りませんか」と言われこともあり、グループに入り連絡するとすぐに既読し、携帯をよく見ているなど感じました。低学年の子どもでも携帯を持ち、ご指導いただけないかと思います。関連して睡眠時間も少なくなっているのではないかと思います。

(教育長)

発言もよく分かりますが、家庭の問題でもあり、指導はできますが、家庭にいき届くかが問題です。学校に持ち込まないよう学校側はできますが。どうすべきか検討していきます。

(飯田委員)

問題行動の件数が表に表されるあり方について、どの程度で挙げられていますか。

(学校教育課長)

例として、刑法違反行為は警察が関与し、情報が共有されるものとして挙げています。虞犯不良行為は警察が関係する補導対象であり、学校独自の形として事前に事案を警察に話し、数に含め集計し、様子を長期的に見るとして挙がってきたり、学校内だけの話として数に含めないこともあります。基本的には些細なことは報告してもらい、情報共有しています。

(飯田委員)

刑法違反行為として警察や第3者が見て件数に含めていると思いますが、例として金品の持ち出しも警察からの報告でしょうか。家族からの報告でしょうか。

(学校教育課長)

金品については、多くは保護者から困っていると学校に相談があり、多額のケースは件数に含めて表示しています。

(鈴木委員)

不登校の人数が多いことを、実際に数値を見て実感しています。1つの学校ができるほどの人数がいるなど思いました。今年度の学校教育課の事務概要にありましたが、不登校対策は学校だけでなく、保護者やこども支援センター、コミュニティ・スクールで地域の方たちとの横の繋がりを活かし、様々な視点からアイデアや寄り添い方を見つけ、少しでも楽しく安心して学校に行

くことができる子どもが増えればと思います。

(教育長)

その他、ご質問はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

続きまして、(2) 令和7年度自然学校の実施について、学校教育課長の説明をお願いします。

(2) 令和7年度自然学校の実施について

《学校教育課長の説明概要》

令和7年度自然学校の実施について、資料に基づき説明する。

現時点ですべての学校が4泊5日実施する。資料にて黄色で塗っている学校が、拠点として集約する学校であり、グループを組み活動する。早い学校は、5月19日から実施する。行き先は、ほとんどが例年どおりの場所で行う。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(鈴木委員)

単独で行う学校と複数で行う学校の違いはありますか。

(学校教育課長)

グループで行う学校は、連携して取り組んでいきたいとしており、学校規模の関係性もあります。5年生で実施するため、中学校に向けてと理由もあります。しかし、単独で行うからよくないということではありません。

(向井委員)

港小学校は7人であり、他の学校と集団で実施してはと思いました。

(学校教育課長)

現在検討されていますが、今年度は資料どおりで実施します。

(教育長)

その他、ご質問はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

続きまして、(3) 令和7年度地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」の実施について、学校教育課長の説明をお願いします。

(3) 令和7年度地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」の実施について

《学校教育課長の説明概要》

令和7年度地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」の実施について、資料に基づき説明する。
トライやるウィークの実施期間は6月2日（月）から6日（金）までの5日間を基本とする。資料の事業所数は、最終決定までに変わる可能性がある。合計212事業所で予定している。

下部は、事前に生徒が事業所を訪問し、打ち合わせをする日程である。自然学校も含め、トライやるウィークの日程を調整しており、ご覧いただきたい。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(向井委員)

昨年は、例えば竹野から豊岡まで公共交通機関を使うことがありましたが、今年も実施されますか。

(学校教育課長)

担当課と調整しており、よい機会だと思います。

(教育長)

ぜひそうしたいです。

(向井委員)

前にお聞きしましたが、竹野学園は竹野だけでと聞きましたが。

(教育長)

別の意図があります。

(教育長)

その他、ご質問はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

続きまして、(4) 令和7年度修学旅行の実施について、学校教育課長の説明をお願いします。

(4) 令和7年度修学旅行の実施について

《学校教育課長の説明概要》

令和7年度修学旅行の実施について、資料に基づき説明する。

小学校・中学校・義務教育学校で修学旅行の行き先をまとめて掲載している。

小学校は1泊2日、中学校は2泊3日で、小学校は広島方面、中学校は東京方面に行く学校が戻ってきて多くなっている。最も早い学校は、5月13日から実施する。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

続きまして、幼児育成課からの報告に移ります。(1) 校区别乳幼児・児童生徒数について、(2) 2025年度幼稚園・保育所・認定こども園の入所状況について、(3) 2025年度放課後児童クラブの入所状況について、幼児育成課長の説明をお願いします。

3 幼児育成課

(1) (2) (3) 校区别乳幼児・児童生徒数、2025年度幼稚園・保育所・認定こども園の入所状況、2025年度放課後児童クラブの入所状況について

《幼児育成課長の説明概要》

校区别乳幼児・児童生徒数、2025年度幼稚園・保育所・認定こども園の入所状況、2025年度放課後児童クラブの入所状況について、資料に基づき説明する。

校区别乳幼児・児童・生徒数を掲載している。基準日は2025年4月7日である。この表は、住民基本台帳のデータを各小学校区単位で集計したものである。未就学児・小学生・中学生を小分けして集計しているが、実際の学校ごとの児童・生徒数とは合致しないことをご承知いただきたい。人数は右肩下がりが顕著であり、現在の14歳児の中学3年生が710人に対し、0歳児は321人と389人、54.8%の減少、6歳児の小学1年生と比べると184人、36.4%の減少である。

2025年度幼稚園児数を掲載している。幼稚園は現在4園である。園児数は37人、昨年度と比較し13人減少している。内訳は、4歳児は3人、5歳児は10人減少している。今年度は全ての園で4歳児・5歳児の混合保育を実施する。

2025年度保育所・認定こども園の入所児童の数を掲載している。2号3号認定としている保育認定児は、他市等からの委託園児を11人含み、合計で1,848人である。昨年の1,921人と比較し73人減少している。また、1号認定児としている教育認定児は94人で、昨年の110人と比較して16人減少している。

未就学児の施設利用状況を掲載している。1歳児で70.8%、2歳児で79%と低年齢からの利用が増加している。

2025年度放課後児童クラブの利用者数を掲載している。小学生と幼稚園児を合わせた利用者数

は1,300人であり、昨年の1,256人と比較し44人増加している。内訳は、小学生が1,284人、幼稚園児が16人である。全児童数は減少しているが、小学生は54人増加している。全児童数3,423人のうち37.5%が利用している。利用率は昨年より3.5%増加している。地域別では、特に出石地域の利用率が高く、福住では75.5%となっている。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(鈴木委員)

放課後児童クラブの利用者数について、豊岡小学校区、五荘小学校区は学校的に規模は大きいですが利用率が低いのは、民間に行かれています方が多いのでしょうか。

(幼児育成課長)

民間に行かれています方もあると思います。利用しなくても大丈夫な方もいると思います。

(鈴木委員)

日高小学校区では人数がとても多いが、これは1つの施設で179人ということですか。

(幼児育成課長)

日高幼稚園が閉められ、そこを児童クラブへ改修し、今年度から本格的にそこで運営しています。今年度は1年生の利用が多く、利用者が増えています。

(鈴木委員)

幼稚園を改修しても179人は多いと思います。施設の広さは大きいでしょうか。

(幼児育成課長)

クラス別のようにして運営しており、部屋は、遊戯室を含め5つあります。

(鈴木委員)

職員も人数が多いですか。

(幼児育成課長)

支援員と補助員で人数は多いです。それでも不足しているため、補助員を募集しています。

(飯田委員)

先日出石に行った際、出石の方は自営業が多いからか、幼稚園の入園者数が他の地域と比べ多いです。しかし、放課後児童クラブを見ると、出石は放課後児童クラブの利用率が高いです。これでいいのかなと。一方で幼稚園は昼から帰るなど各家庭でいて、小学校では夕方まで学童にいなさいとデータに表れています。学童の数に比例して多いと思いますが、出石の場合は逆になっているので、地域柄があるのかと思います。

(鈴木委員)

出石幼稚園の園長先生は、「子どもを幼稚園に入れたい方も多いが、仕事と預かり時間の関係で入れられなくて断念される方も増えている。」と話がありました。

(幼児育成課長)

出石地域はもともとほとんどの方が幼稚園に通われていました。しかし、最近は親御さんのニーズで「それでは仕事が」となり、保育園や認定こども園を選ばれる方が多くなっているため、幼稚園の通園人数が少なくなっていることがあります。しかし、幼稚園でも16時までなら放課後児童クラブを利用できるため、16時まで放課後児童クラブに通われている方が多いです。

(升田委員)

伝統的に幼稚園に入園させ、小学校へ入学させる思いは皆さん代々持っていますが、実際若い方は働きに行かれる方が多い。幼稚園に行かせ、16時まで放課後児童クラブに見ていただけるので、そこまで就労できる方が多いです。16時にお迎えに行くと、若い親御さんばかりで話をされています。

(飯田委員)

出石も愛育園があり、入っている方もいるので一概には言えませんが、幼稚園に入園されたい人数の比率が他の地域と比べて多いと思いました

(幼児育成課長)

先ほどの保護者の考え方があると思います。

(教育長)

その他、ご質問はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

それでは、各課からの報告はこれで終了いたします。

【日程 第7 こども未来部の報告】

(教育長)

続きまして、日程第7 こども未来部の報告に移ります。こども支援課 (1) 豊岡市こども支援センター活動状況報告について、こども支援センター所長の説明をお願いします。

1 こども支援課

(1) 豊岡市こども支援センター活動状況報告について

《こども支援センター所長の説明概要》

こども支援センターの活動状況について、資料に基づき説明する。

今回は、3月分と2024年度の総括を併せて活動報告をする。

不登校について、3年間の通所状況を数値化したものを掲載している。2022年度は平均3.2人。この年度の11月1日にこども支援センターを始めた年である。それ以前も同じような数値である。また、その頃はコロナの影響を受けていたが、コロナの前も概ね3人から4人の平均人数である。資料を見ると1日の平均利用は、2023年度には8.3人になり、2024年度には10.1人である。3月19日に、本年度2回目の保護者座談会を行った。10名の参加者があり、10名の参加者の出現頻度の高い言葉が3つあり、1つ目は「進路・学力に関すること」、2つ目は「居場所」、3つ目は「学校との関係」である。校外の教育支援センターとしての支援の在り方について考える機会となった。併せて2025年度は、「居場所としての安心・安全を感じられること」「人や社会とのつながりを感じられること」「成長を自覚できること」の3つの機能を高めていくことを考えている。

特別支援について、電話及び来所の相談実数と実支援人数を直近の5年間掲載している。年々増えている状況である。本年度は、相談依頼票を受けた段階で発達検査の希望が半数を超えていた。2024年度は112件中66件と58.9%である。2023年度は46.7%。また、2023年度に引き続いてコミュニケーションに課題があるケースが約3割を占めている。

家庭児童相談について、3月の虐待通告はなし。虐待通告について経年の比較は、資料に6年間掲載している。2024年度は2023年度より少し減少している。1年間を通じ学校園からの虐待通告や相談が早くなったと感じる。学校園では子どもへのアンケートや子どもの言葉に敏感に反応し、学校園の虐待から子どもを守る意識の高まりを日々感じている。2024年度の47件の内訳は、身体が23件、心理が14件、ネグレクトが10件である。ネグレクトは10件で件数は少ないが、日常生活全般がつくり出すネグレクトの改善の難しさを関わりながら痛感している。虐待事案は、どのケースも迅速な対応と改善が望まれるため、各種機関との緊密な連携を今後も行いたいと考える。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

【日程 第8 委員活動報告】

(教育長)

日程第8 委員活動報告に移ります。特に伝えたいことがありましたら、お願いします。

(委員)

なし

【日程 第9 教育委員会活動予定】

(教育長)

続きまして、日程第9 教育委員会活動予定に移ります。会議予定や、今後の活動について、事務局の説明をお願いします。

1 次回教育委員会会議の日程について

《教育総務課教育総務係長の説明概要》

2025年度第2回教育委員会会議は、5月19日（月）午前9時30分から、本庁舎7階 第3委員会室で開催する。

2 今後の活動・行事予定

《教育総務課教育総務係長の説明概要》

今後の活動・行事予定について、資料に基づき説明する。

（教育長）

以上で日程は終了となりますが、全体を通して何かありませんか。

（委員）

なし

それでは、次回の教育委員会会議は、5月19日（月）午前9時30分から、本庁舎7階第3委員会室で開催します。

これをもちまして、第1回教育委員会会議を閉会いたします。

閉会 午前10時20分

この会議録は、会議の内容と相違ないことを証します。

2025年4月21日

教育長

委 員